

2011年2月24日

2010年JVCA投資動向調査（第4四半期レポート）

日本ベンチャーキャピタル協会
調査・研究委員会

1. 集計対象

JVCA 会員 55 社へアンケート形式で実施。

アンケート回答社数 42 社の協力を得て、2010 年 10 月～12 月（第 4 四半期）の VC 投資実績について集計を行いました。

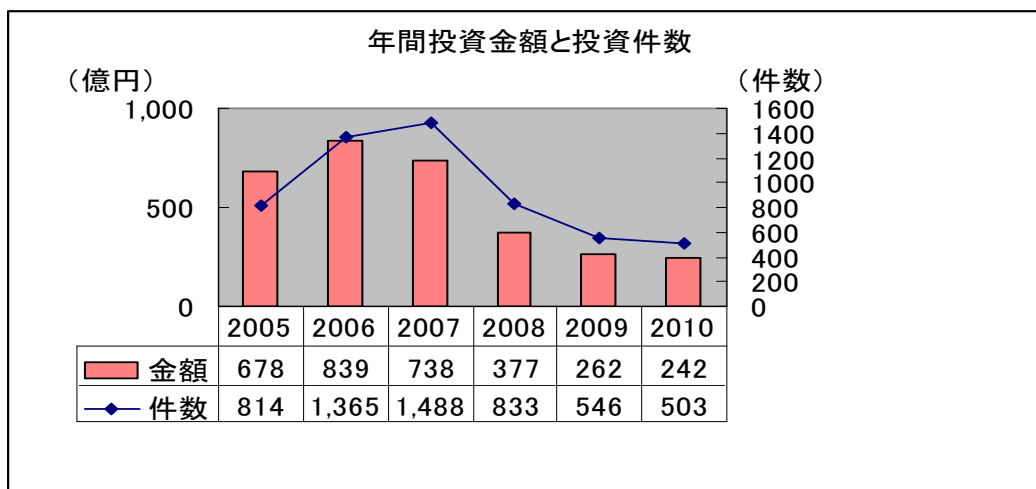
（注：2010 年第 3 四半期の回答社数 42 社、2010 年第 2 四半期の回答社数 42 社、2010 年第 1 四半期の回答社数 41 社、2009 年第 4 四半期の回答社数 38 社、2009 年第 1 四半期～第 3 四半期の回答社数 40 社、2008 年第 1 四半期～第 4 四半期の回答社数 35 社）

2. 調査結果概要

(1) 2010 年の年間投資金額と投資件数

2010 年第 4 四半期の投資金額は 70 億円でこの結果 2010 年の年間投資金額は 242 億円となりました。前年 2009 年の 262 億円と比較すると 8%の減少となり調査開始以来の低い水準となりました。

一方 2010 年の投資件数（ディール件数）は 503 件で前年の 546 件に比べこちらも 8%の減少となり、年間投資残高と同様調査開始以来の最低の件数に終わりました。

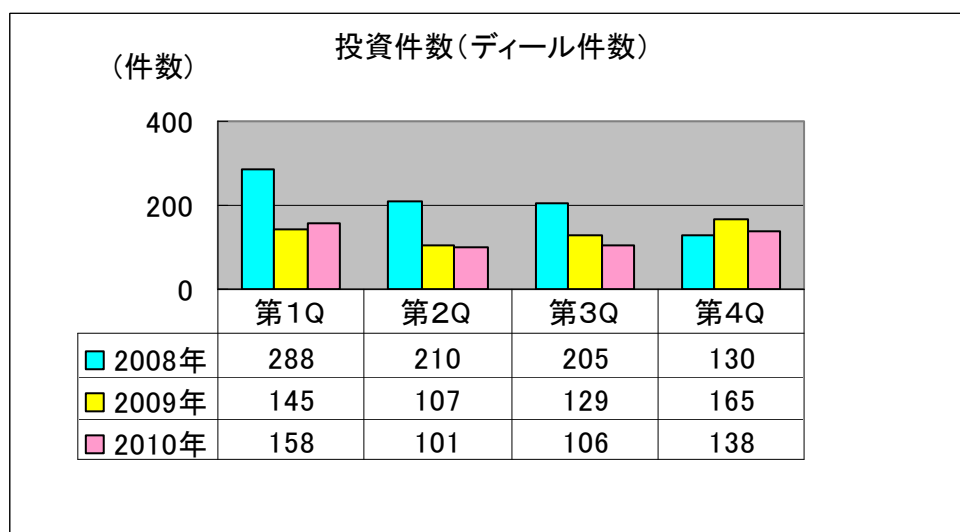
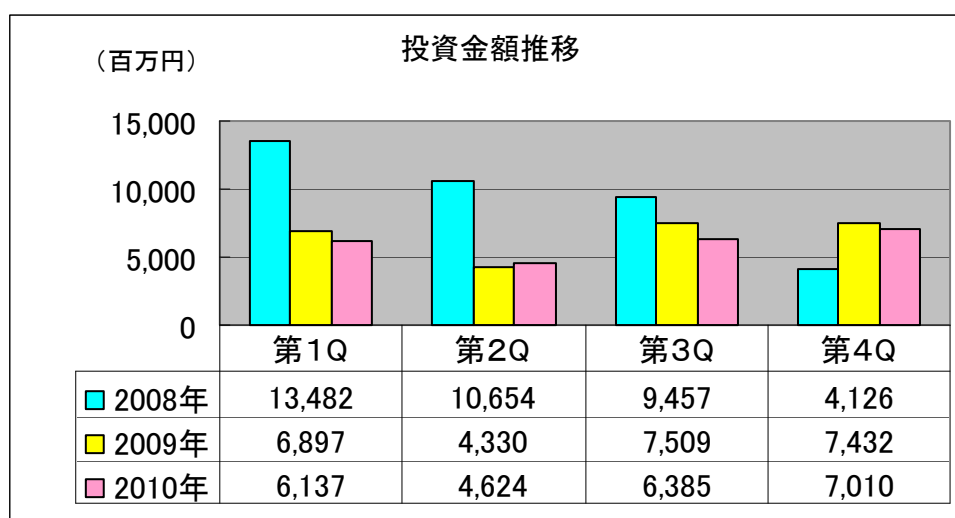


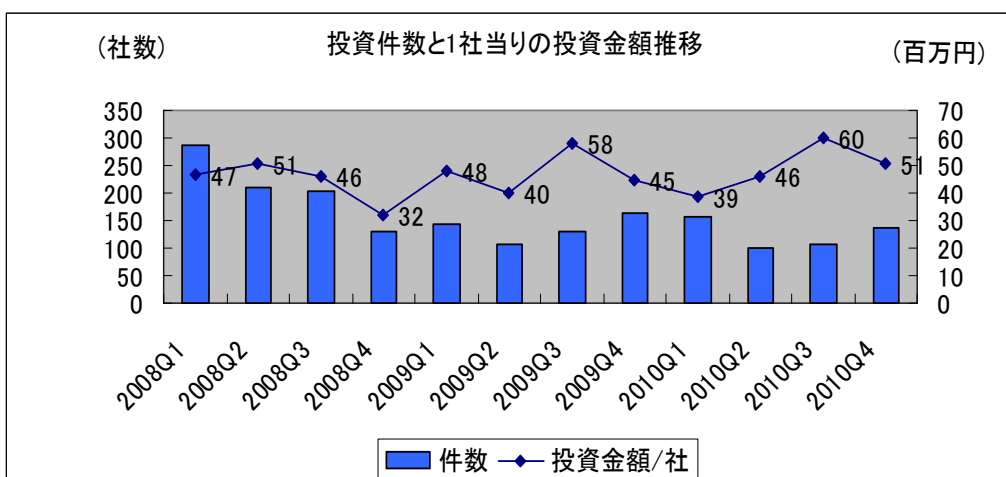
(2) 2010 年第 4 四半期の投資金額と投資件数

投資金額は 70 億円で、前年同期比 (2009 年第 4 四半期の投資金額は 74 億円) 6% の減少でした。一方前四半期比 (2010 年第 3 四半期の投資金額は 64 億円) は 10% 増加しておりこれで 2 四半期連続しての増加となりました。このまま今年度の第 1 四半期が増加であれば増加基調に転じたと判断出来る足下の傾向にあります。

一方投資件数は 138 件で前年同期比 (2009 年第 4 四半期の投資件数は 165 件) 16% 減少でした。一方前四半期 (106 件) 比 30% 増加しており第 2 四半期を底に回復傾向が読みとれます。

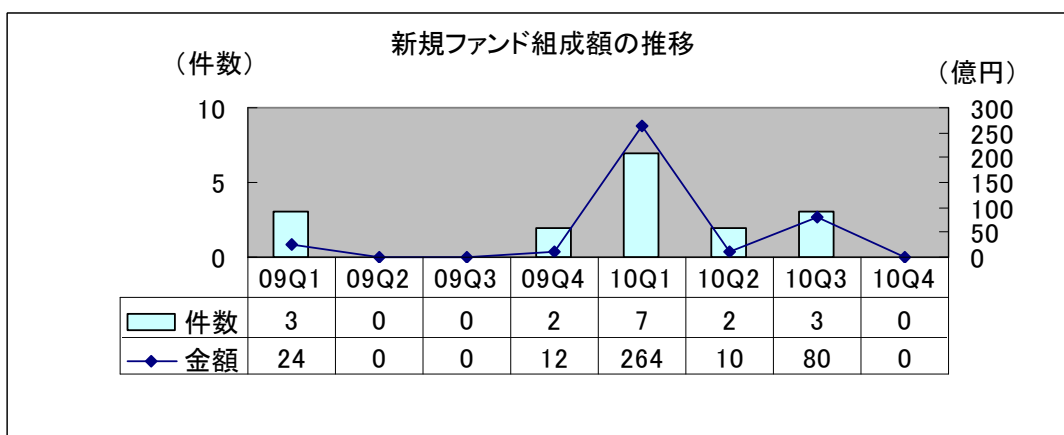
1 社当りの投資金額は 51 百万円で前四半期 (60 百万円) 比 15% 減少しました。





(3) 新規ファンド組成額の状況

第4四半期の組成は残念ながらゼロ件でした。昨年再編された中小機構ファンド出資事業によるファンドレイズは今期以降に期待がもたれます。



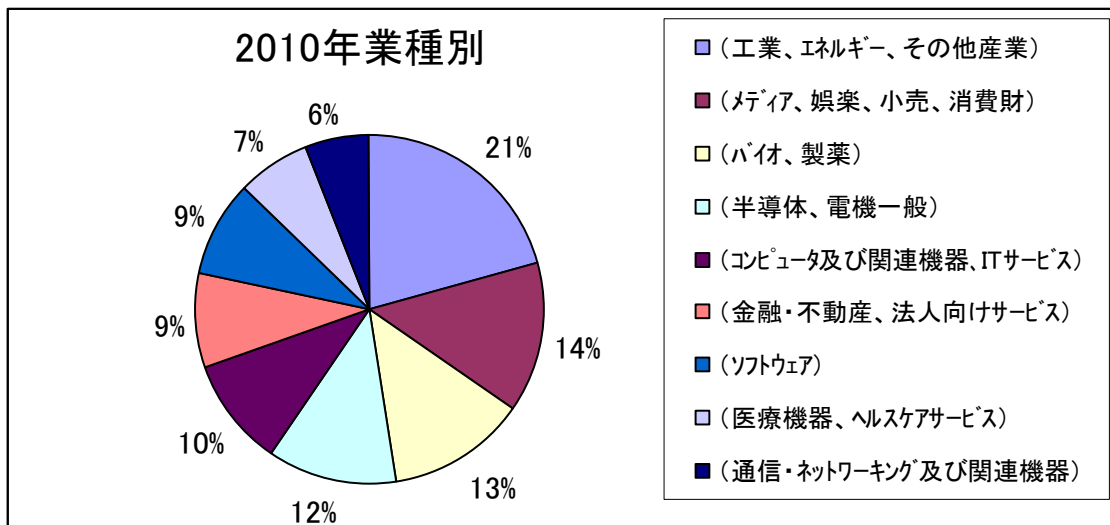
注) 今回の新規ファンド組成は、アンケートに回答のあったVC42社の集計

(4) 業種別投資比率

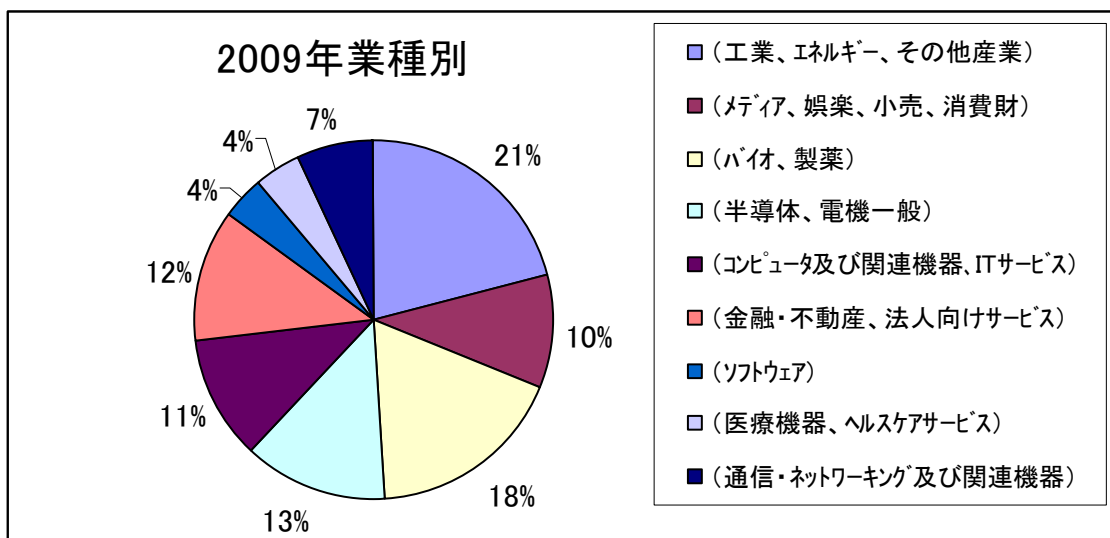
2009年と比較して増えた業種はソフトウェアの9%(前年比+5%)、メディア・小売の14%(前年比+4%)、医療機器・ヘルス케어の7%(前年比+3%)

一方減った業種はバイオの13%(前年比-5%)、金融・不動産の9%(前年比-3%)でした。

クリーンテクノロジー関連の投資は5%で2009年比3%減少しました。



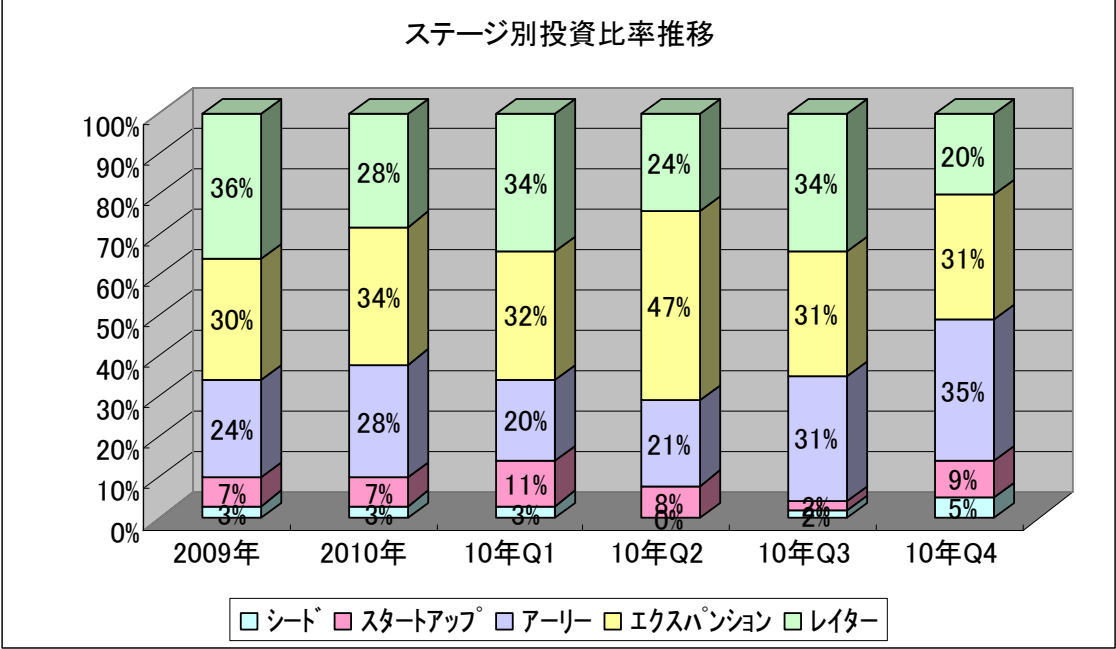
うちクリーンテクノロジー5%



うちクリーンテクノロジー8%

(5) ステージ別投資比率

昨年から続いていたエクспанション・レイターステージへの投資シフトは一巡した感があり年後半にはアリーステージの比率が増加してきています。この要因は2010年に新規に設立されたファンドが354億円(2009年は1/10の36億円)あったことや、最近のEXIT環境の悪化からトレードセールスを視野入れ、良質案件のリードを早期の段階から取りに行く投資スタイルの変化等が徐々に現れてきているのではと推察しています。



以上